
はちゃめちゃ忍者日記 忍たま乱太郎

ダークカブト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

はちやめちや忍者日記 忍たま乱太郎

【Nコード】

N3120BA

【作者名】

ダークカブト

【あらすじ】

この小説は忍たま三人組とオリキャラの主人公先生とその他のアニメキャラが引き起こす、どたばたコメディ小説です。よかったらぜひ見て下さい。

始まりの夜の段（前書き）

これは最近、作者が忍たま乱太郎にはまって勢いで書いた物ですが、それでもちよくちよくがんばろうと思います。

始まりの夜の段

「ここは、神奈川県、川崎市。南西を海に、北東を海に囲まれ、東西南北それぞれに一つずつ学び舎があり、北に私立桜が丘高等学校、東に川神学園、西に聖クロニカ学園、南にホームズ探偵学院が在り、さらに」

「先生」

「……さらに、街の中央には日本国内の超能力者、つまりエスパーを育て、さらに超能力対策を担当する政府機関、正式名称、務省特務機関超能力支援研究局、英称、Base of Backing Esp. Laboratory通称B.A.B.E.L.本部がたたずんでいる」

「さらに、さらに」

「昆奈門先生」

「……さらに、さらに、東には川神院とゆう名高い寺院がある」

「先生、誰に話してるの？」

「……さらにこの川上院は武術の鍛錬場所としても有名な
ある」

「あつ、無視した」

「では次にこの世界の事に関して説明しよう、さつきも言っ
たとおり、この国にはエスパー、つまり超能力者がいるエスパーの
強さは全部で7段階、超度1は静止している人や、特に超能力に敏
感な人が感じる程度。超度2は大勢の人が感じる。戸や障子が揺れ
る程度。超度3は家屋が揺れ、電灯などのつり下げ物が大きく揺れ
る。超度4は花びん等が倒れ、歩いている人にも感じられる。多く
の人が驚いて外に飛び出す。」

「先生、読者の皆さんに字数稼ぎって思われちゃいますよ」

「……まあ、超度5と超度6は置いといて、最後の超度7、
つまり最高ランクのレベル7はあらゆる物が破壊され、物が飛ぶ。
……とつ、こういった具合で超能力に關しての話はこれまでだ……次
に」

「……まだやるのかよ？」

「???」もう良いや、説明が終わるまでまってよう」

「???」そっだな」

そう言うところの子供はいつ用意したのかコタツの中に入りみかんを食べたりマンガを読んだりなどしている

「???」……………さっさと終わらせよう、次にこの世界にはトイズと呼ばれる超能力に似た能力を使う者たちがいる、そしてトイズを悪事のために利用する怪盗と正義のためにトイズを用いる探偵とが激しく対立している……………」

包帯の男は話を止めると持っている太いストローの付いた竹の水筒で水分補給をすると又、喋り始めた

「???」最後に、この世界にはごく稀にだが忍者と呼ばれる集団がいる忍者とは影に生き、影で死ぬ、まるで幻の様な存在なのだ」

「???」忍者は日本各地にそれぞれ少なからずいる……………何故、私がそんなに忍者に詳しいかって?……………それは」

「???」私が……………」

ばっ！

??? × 3 「「私「俺」「僕」達が忍者だからでえええす！」」

??? 「のわっ！」

包帯の男が言いかけた瞬間、コタツに入っていた3人が急に飛び出し男を突き飛ばし自分達がいいところを持っていった

??? 「いやああ、決まったな」

??? 「うん！」

??? 「やっぱりここは私達が占めないかね」

3人がそんな会話をしていると

??? 「おい」

??? × 3 「「ひいつ!?!」「」

騒いでいた3人はその声に反応するとそつと後ろを振り向く、そこには

???「お前達」

???×3「「「あわわわわわ」」」

3人に突き飛ばされた包帯の男が3人を睨んでいた

???「乱太郎」

乱太郎「はい…」

???「きり丸」

きり丸「はい…」

???「しんべえ」

しんべえ「はい…」

???「お前達……」

乱太郎「ひiiiiiii」

???「お前達は……」

きり丸、しんべえ「「わわわわわわ」」

???「お前達は忍者じゃなくて忍たまだろっ」

乱太郎、きり丸、しんべえ「わあああああ!」

ずこおおお!

乱太郎たちはそのままずっこけてしまった

乱太郎「てっ、そこは怒らないんですか?」

???「ああ、そうだ」

きり丸「だったら、あんな顔で睨まないでくださいよ!」

???「失礼だな……あつ!」

乱太郎「どうしたんですか?」

???「大事な事を言い忘れていた」

乱太郎「大事な事?」

???「皆さん、私はこの3人の師匠をしているフリーの忍者、
雑ざ渡つと 昆こな奈な門もんです」

乱太郎、きり丸、しんべえ「「あああああ!」「」」

ずこおおお!

雑渡昆奈門が突然、自己紹介をしたので乱太郎たちはまたずっこけた

昆奈門「それじゃあ、乱太郎、きり丸、しんべえ」

乱太郎、きり丸、しんべえ「「はいつ！」「」」

昆奈門「次回から本格的に小説が始まる、準備は良いな？」

乱太郎、きり丸、しんべえ「「はいつ！」「」」

昆奈門「それじゃあ、読者の皆さんに小説の宣伝を頼む」

乱太郎、きり丸、しんべえ「「はいつ！」「」」

乱太郎「はちやめちゃ」

きり丸、しんべえ「「忍者日記」「」」

乱太郎、きり丸、しんべえ「忍たま乱太郎！」

昆奈門「どうぞよろしく」

始まりの夜の段（後書き）

雑渡 昆奈門 C V 森久保祥太郎

人相は忍たまの昆奈門に似ているが髪は茶髪で忍装束を着ていないため右目と髪を残して顔全体を包帯で覆っている服装はFate/Zeroの衛宮 切嗣と同じ黒いコートを羽織っている懐には常にクナイなどを隠し持っている

実力は様々な忍具を使いこなすため、条件がそろえば川神 百代を倒せるレベル

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3120ba/>

はちゃめちゃ忍者日記 忍たま乱太郎

2012年1月8日02時48分発行